



国立大学法人  
豊橋技術科学大学  
TOYOHASHI  
UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

# 平成22年度豊橋市生涯学習市民大学トラム 豊橋技術科学大学連携講座

## 「太陽光型植物工場の現状と今後の展望」

わが国農業は高齢化、後継者不足、農産物輸入自由化、資材費、光熱費の高騰などでビジネスとしての存続が危ぶまれています。そこで、農林水産省と経済産業省は今後の農業の1つの形態として植物工場の推進を行っています。

豊橋市は約100年前にわが国で初めて施設園芸が行われた施設園芸発祥の地であり、最先端施設園芸である太陽光型植物工場の普及が望まれています。本講座では、その現状と今後の展望を紹介します。



日程		担当講師	講義テーマ・概要
2/19 (土) 13:30 ～ 16:40	第1回	先端農業・バイオリサーチセンター： 特任教授：三枝正彦	<b>植物工場とは：現状と課題</b> 人工光型植物工場と太陽光型植物工場について、定義、ビジネス性、現状と課題について、現在の最先端園芸施設と比較しながら具体例を提示して解説します。
	第2回	先端農業・バイオリサーチセンター： 特任教授：三枝正彦 研究員：熊崎 忠	<b>豊橋技術科学大学におけるインテリジェントグリーンハウス</b> 豊橋技術科学大学における先端的園芸施設「インテリジェントグリーンハウス」について、概説すると共に、実際の施設見学を行います。
2/26 (土) 13:30 ～ 16:40	第3回	先端農業・バイオリサーチセンター： 特任教授：三枝正彦 研究員：熊崎 忠	<b>オランダ国における最先端施設園芸の現状</b> 最先端施設園芸が行われているオランダ国の現地視察報告を中心に、オランダ国における施設園芸農業の現状と我が国における最先端の太陽光型施設園芸の展開方向について講義します。
	第4回	先端農業・バイオリサーチセンター： 特任教授：三枝正彦	<b>植物工場と農商工観連携</b> 三遠南信地域における今後の農業ビジョンとしての植物工場の位置づけと植物工場を中心とする農商工観連携、都市型農業の在り方などについて提案します。

【会 場】豊橋技術科学大学A 2棟101講義室

【受講料】無料

【アクセス】

バス：豊橋駅東口2番のりばから、豊鉄バス豊橋技科大線に乗車、技科大前で下車

自家用車：駐車場あり

【申込み・問い合わせ先】

◆豊橋市教育委員会 社会教育課 TEL：0532-51-2849

◆豊橋技術科学大学 総務課地域連携係

TEL：0532-44-6569 FAX：0532-44-6509

e-mail：chiren@office.tut.ac.jp

※お申し込みの際は、氏名、住所、電話番号、生年、性別をお知らせください。

※当日の飛び入り受講も可能です。お気軽にご参加ください。